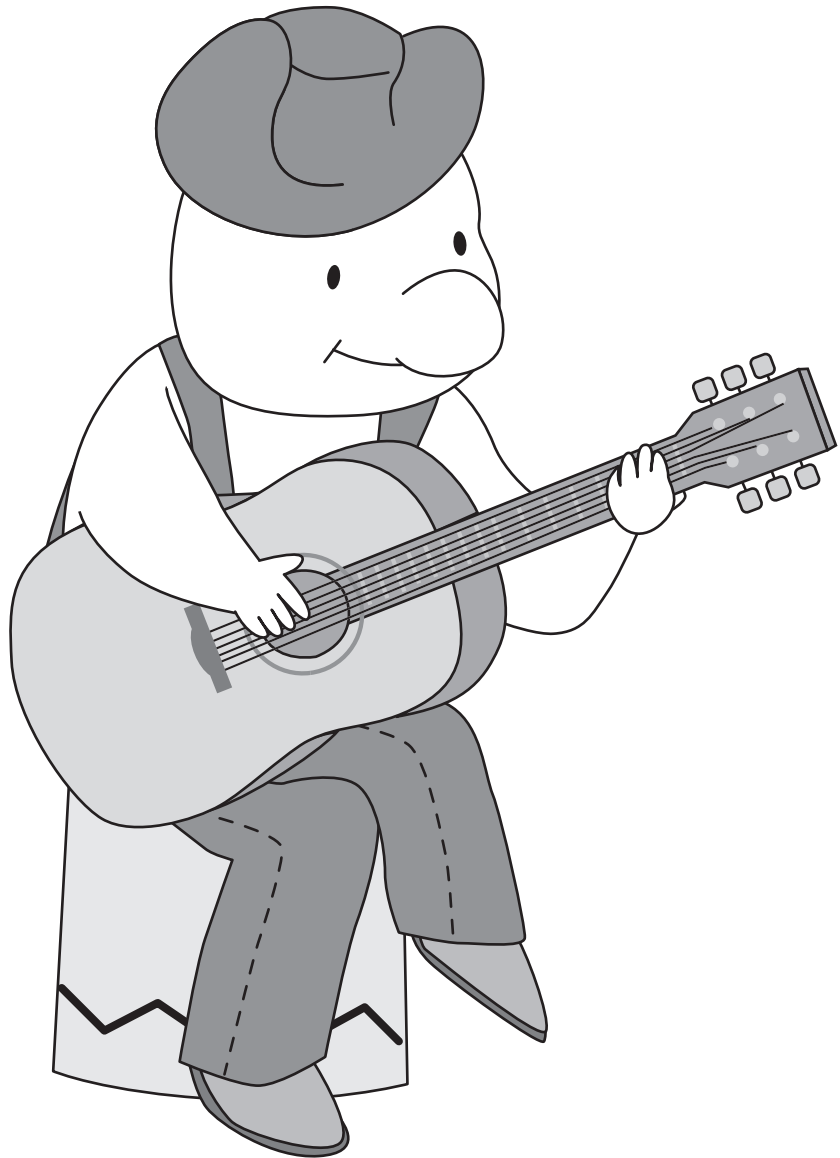


Let's try!



ラパン 11-1

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

かき
柿くえば

かね ^なが鳴るなり
鐘 ^{ほうりゆう}が ^じ隆寺
法



もの
物いえば

くちびる ^{さむ}し
唇 寒し
^{あき}秋 ^{かぜ}の風



こんごう
金剛の

つゆ ^{いし}ひとつぶや
露 ^{うえ}の上
石



ラパン 11-2

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

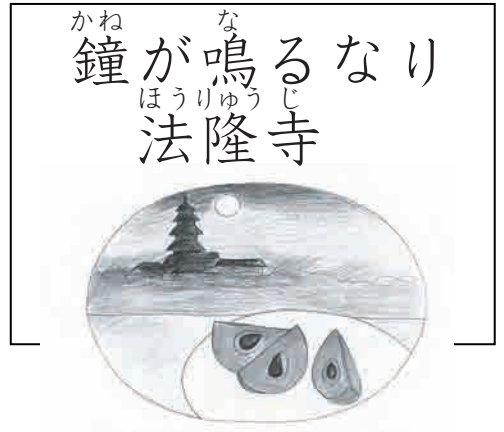
こんごう
金剛の

くちびる さむ
唇 寒し
あき かぜ
秋の風



もの
物いえば

かね な
鐘が鳴るなり
ほうりゆう じ
法隆寺



かき
柿くえば

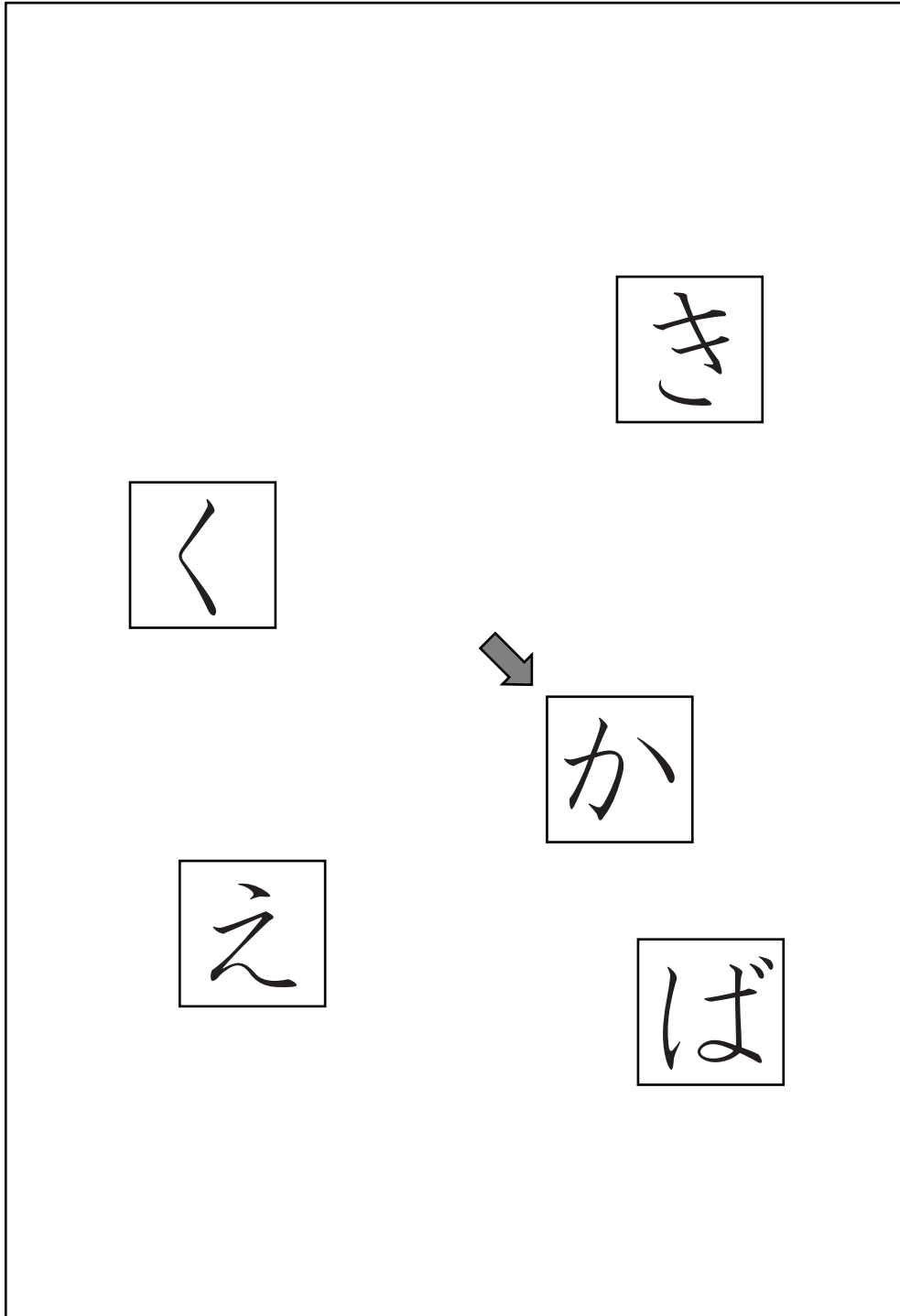
つゆ
露ひとつぶや
いし うえ
石の上



ラパン 11 - 3

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

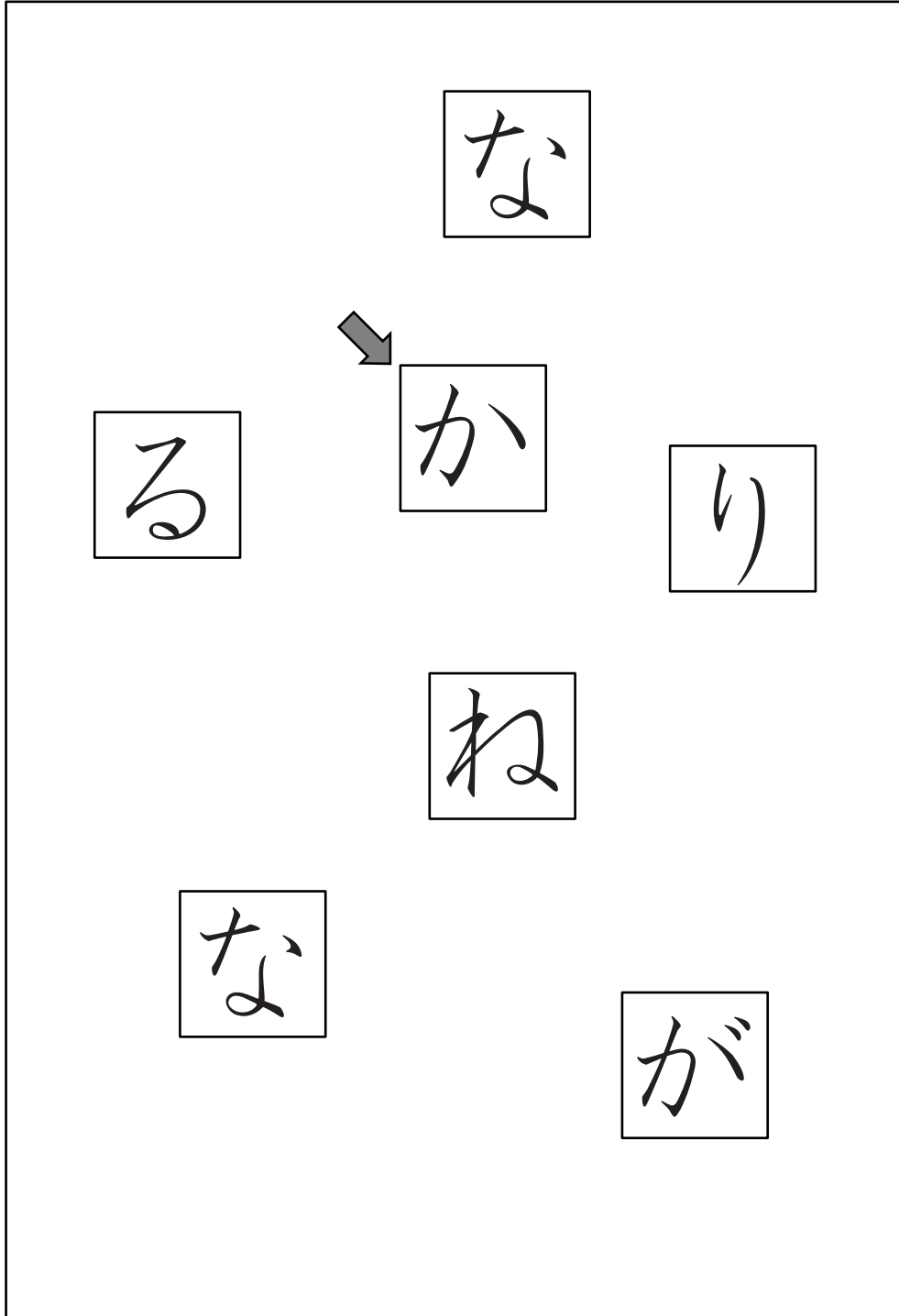


かきくえば……

ラパン 11 - 4

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

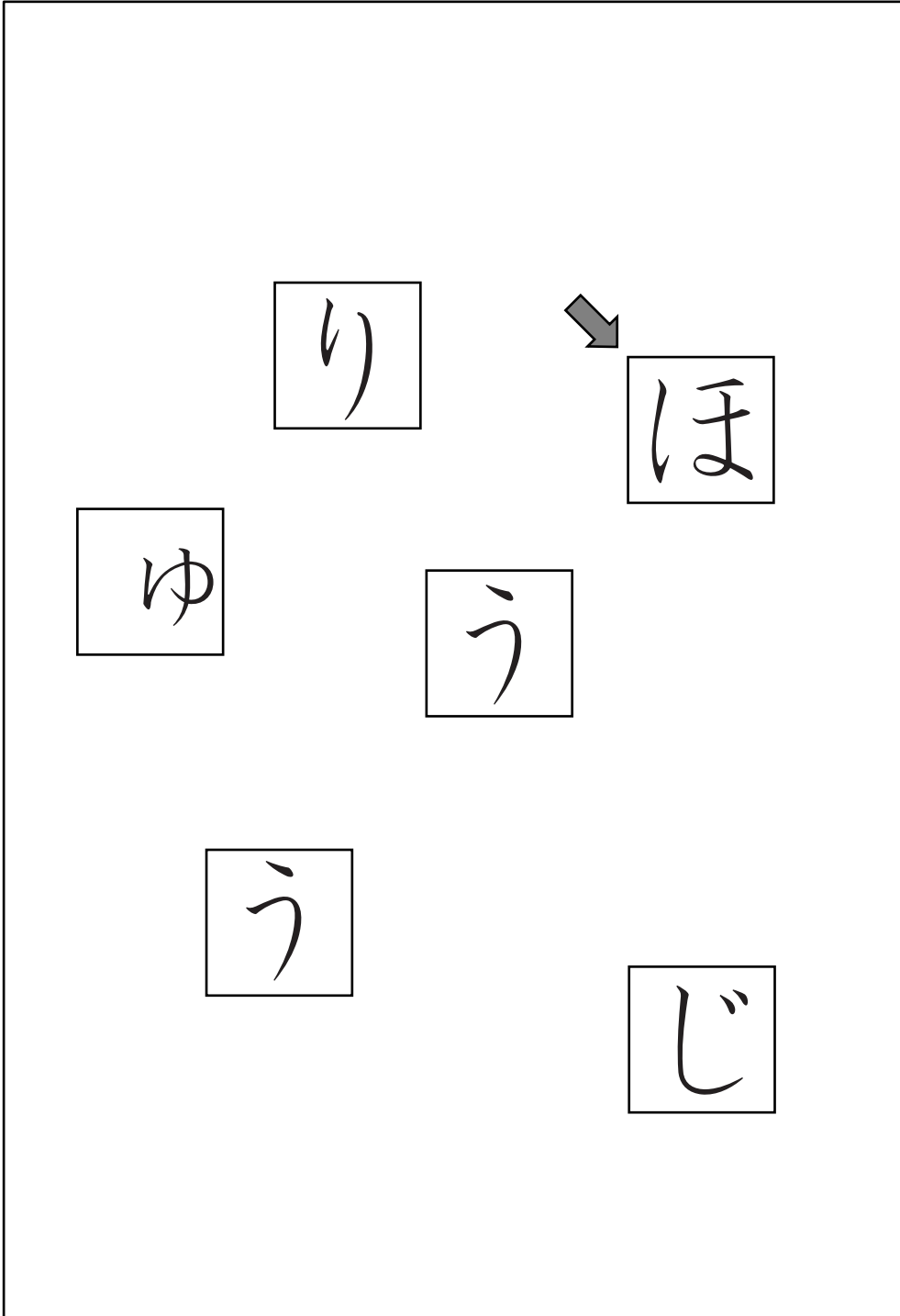


・
・
か
ね
が
な
る
なり
・
・

ラパン 11 - 5

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。



・
・
・
・
ほうりゅうじ

ラパン 11 - 6

なまえ

はじめからおわりまで、^{すす}進みましょう。

はじめ



こ	ん	ご	う	の	つ	ゆ	が	お
ん	ね	う	の	つ	ゆ	は	た	ち
こ	た	の	ひ	と	つ	ぴ	き	て
ん	え	つ	ゆ	ひ	ぶ	か	ぴ	か
と	こ	と	お	と	あ	り	い	し
ど	き	が	く	つ	ぶ	ま	れ	て
あ	を	た	た	ぶ	い	し	き	い
う	の	し	い	や	し	た	も	て
え	す	で	え	う	の	よ	て	と

↓
おわり

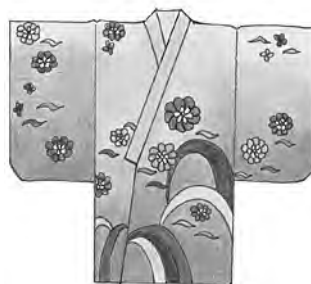
ラパン 11-7

なまえ

せん
線でむすびましょう。

いちまい
一枚

きもの



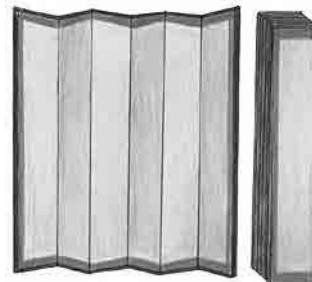
いちじょう
一畳

たたみ



いっそう
一双

びょうぶ



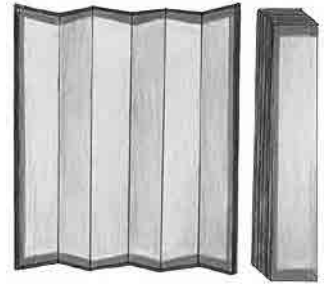
ラパン 11 - 8

なまえ

せん
線 でむすびましょう。

いちまい
一枚

び
よ
う
ぶ



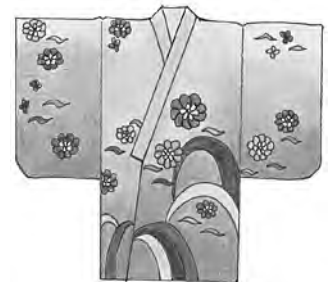
いっそう
一雙

た
た
み



いちじょう
一畳

き
も
の



ラパン 11 - 9

なまえ _____

すうじをなぞりましょう。
たしざんをしましょう。

$$6 + \begin{array}{c} \text{8} \\ \text{ラパン} \end{array} = \square$$

$$4 + \begin{array}{c} \text{8} \\ \text{りんご} \end{array} = \square$$

$$5 + \begin{array}{c} \text{8} \\ \text{かぼちゃ} \end{array} = \square$$




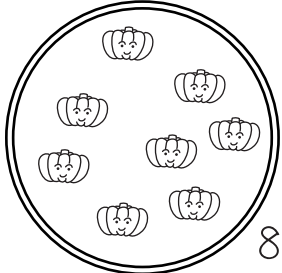
8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

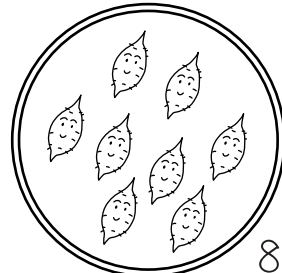
ラパン 11 - 10

なまえ _____

すうじをなぞりましょう。
たしざんをしましょう。

9 ○ +  =

8 ○○ +  =

7 ○○○ +  =

8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

○の数と数字で10になることを教えましょう。

ラパン 11 - 11

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

か
借りてきた

ねこ
猫



き
木を見て

もり
森
み
を見ず



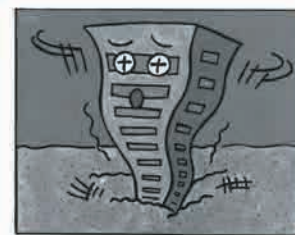
こんや
紺屋の

しろばかま
白袴



さじょう
砂上の

ろうかく
楼閣



ラパン 11 - 12

なまえ

せん
線でむすびましょう。

さじょう ろうかく
砂上の楼閣

いつもとちがって
おとなしいね



か
借りてきた
ねこ
猫

まわりをみてごらん



こんや しろばかま
紺屋の白袴

しっぱい
すぐに失敗しそうだ



きをみて
もりを見ず
森を見ず

じぶん
自分のことには手が
まわらないよ



ラパン 11 - 13

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

木^きを^み見て
森^{もり}を^み見ず

他人^{たにん}に忙^{いそが}しく、自^じ分^{ぶん}の
こと^{こと}を^をする暇^{ひま}がない



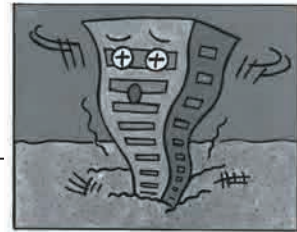
紺^{こん}屋^やの白^{しろ}袴^{ばかま}

細^{こま}かい点^{てん}に注^{ちゅう}目^{もく}して、
全^{ぜん}体^{たい}を^をとらえない



借^かりてきた
猫^{ねこ}

基^き礎^そがしっか^しりしてい
ないた^ため^めすぐ失^し敗^{ぱい}する



砂^さ上^{じょう}の楼^{ろう}閣^{かく}

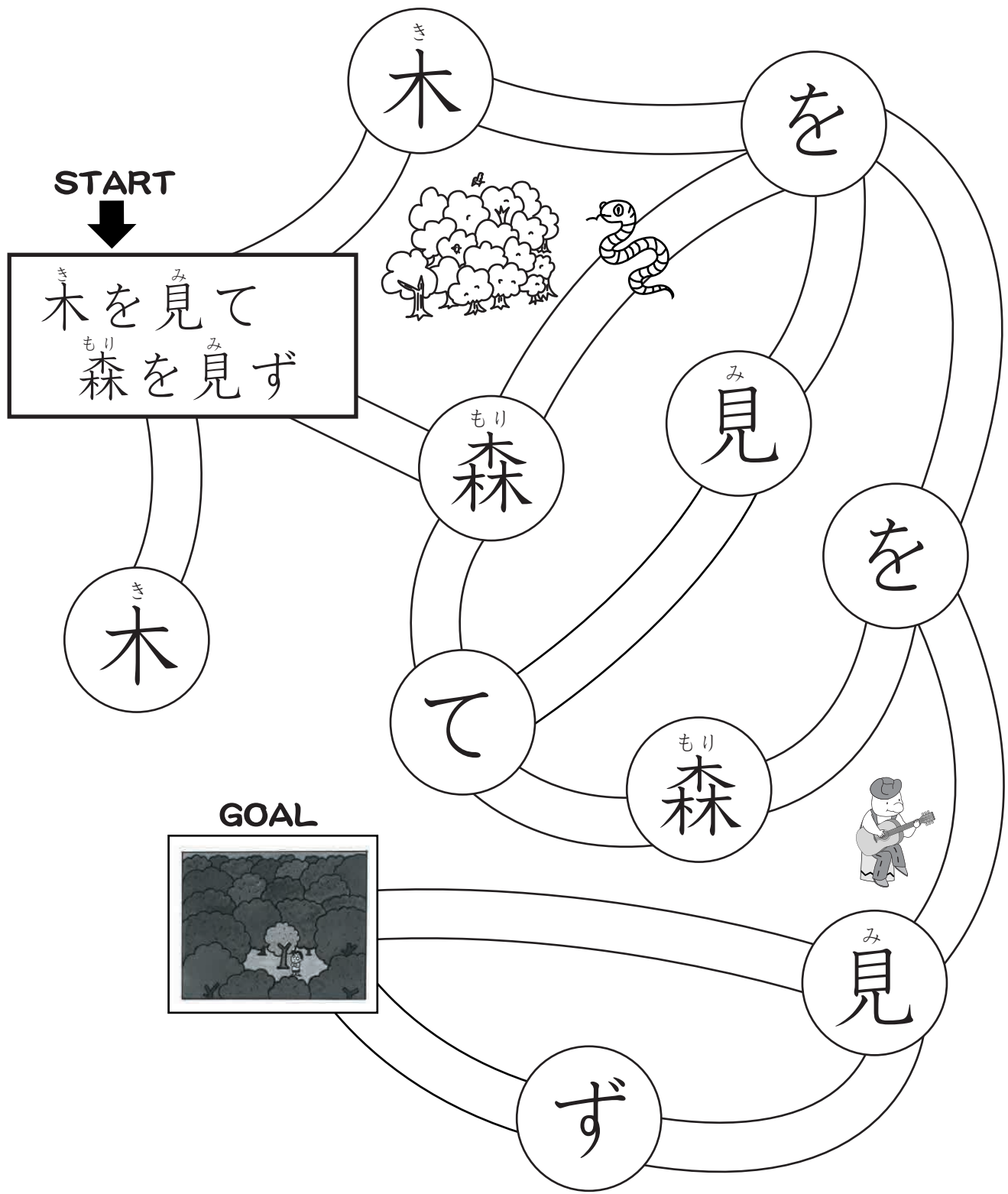
普^ふ段^{だん}とちがって、
おと^とな^なしくしてい^いる



ラパン 11 - 14

なまえ

スタートからゴールまでいきましょう。



- 1 絵^えをか^かくのが^{だいす}大好き。でも使^{つか}うとだ^だん
だ^{ちい}ん小^{ちい}さく^くな^なって^てく^くる^るもの^のな^なあ^あに^に？

クレヨン

- 2 口^{くち}から^はり^を出^だして、紙^{かみ}と紙^{かみ}をと^とめ^める^る
もの^のな^なあ^あに^に？

ホッチキス

- 1 ^{はたら}働けば^{はたら}働くほど、^{ちい}小さくなってしまいう
ものなあに？

けしごむ

- 2 ^{つか}使えば^{つか}使うほど、^{みじか}短くなる^{ほそなが}細長いぼう
はなあに？

えんぴつ

ラパン 11 - 17

なまえ

せん
線でむすびましょう。

いっ ちよう
一長

いっ たん
一短



か ちよう
花鳥

ふう げつ
風月



ご り
五里

む ちゆう
霧中



ラパン 11 - 18

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

かちょうふうげつ
花鳥風月

うつく
美しい自然よ、
しぜん
ばんざい！



ごりむちゆう
五里霧中

どうしたらいいのかな



いっちょういったん
一長一短

いいところも、わるい
ところもあるね



ラパン 11 - 19

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

いっちょういったん
一長一短

しぜん うつく ふうけい
自然の美しい風景。



ごり むちゆう
五里霧中

ものごと はんたん
物事の判断がつかず、ど
うしていいかわからない。



かちょうふうげつ
花鳥風月

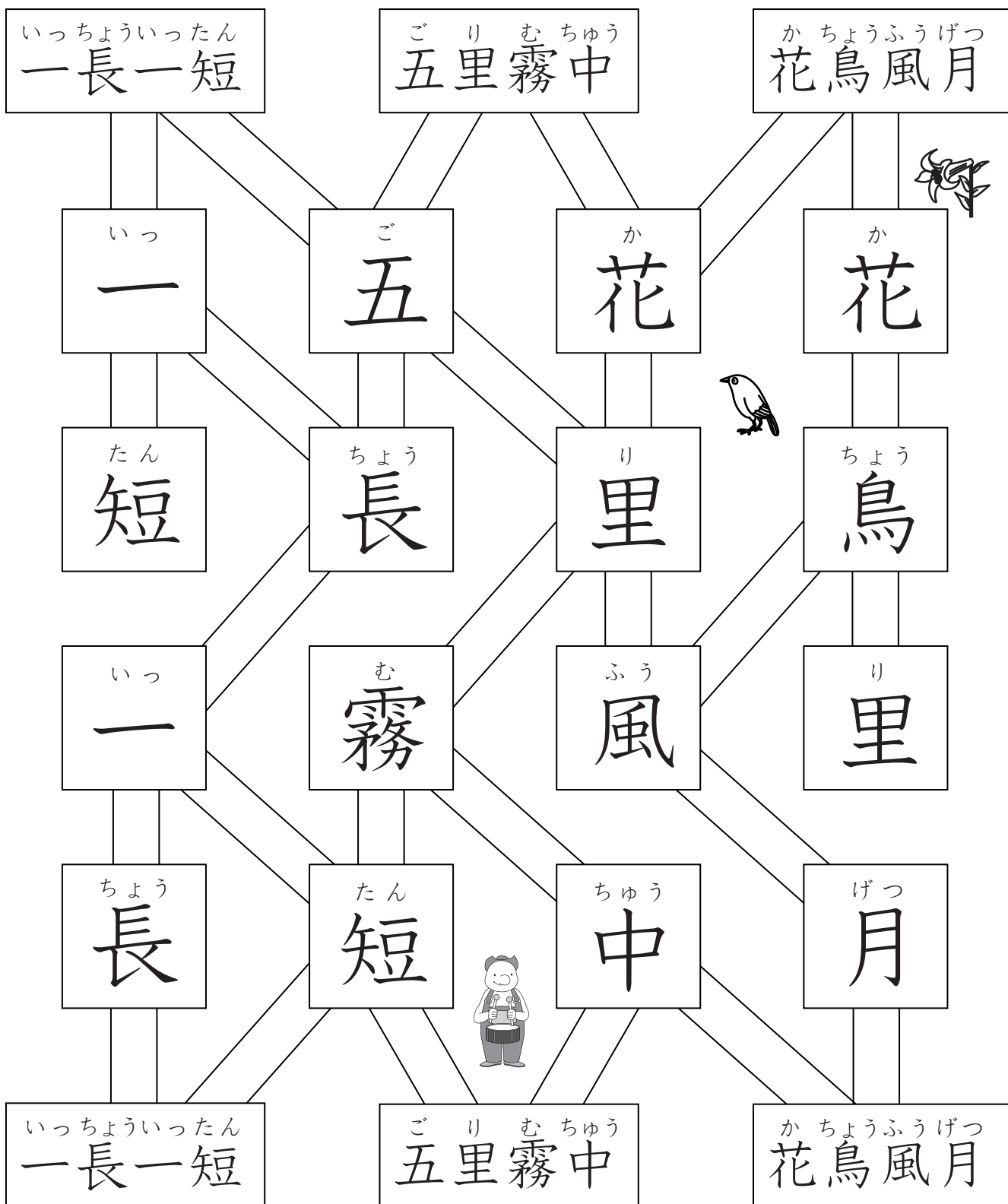
ちようしょ たんしょ
長所もあり、短所もあること。



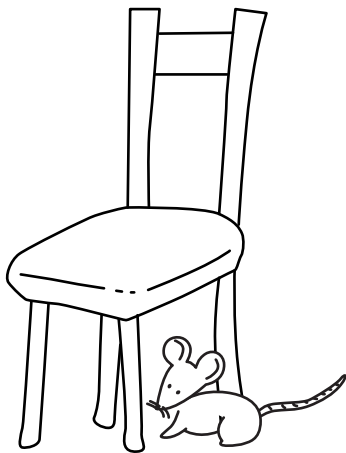
ラパン 11 - 20

なまえ

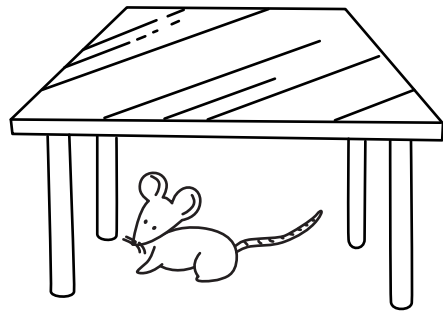
線^{せん}でむすびましょう。



まちでねずみたちがごちそうを食べていたとき、
だれかが入ってきました。
ねずみたちはどこにかくれましたか？



いすのした



テーブルのした

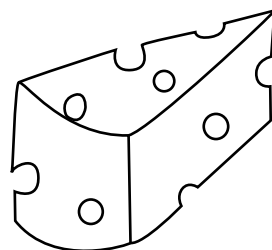


コップのうしろ

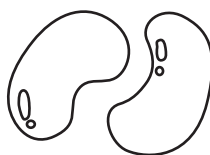
^{まち}町のねずみの^{いえ}家で、テーブルの^{うえ}上にならんで
いたごちそうに○をつけましょう。



どんぐり



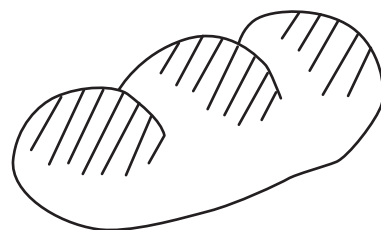
チーズ



まめ



ケーキ

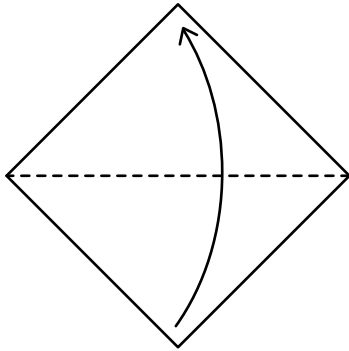


パン

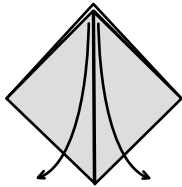
ラパン 11 - 23

《くまさんのおめん》

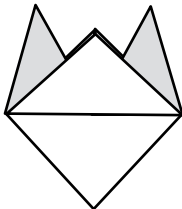
なまえ



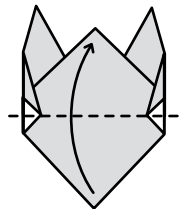
1 さんかくに おる



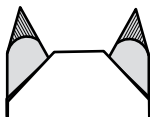
3 さきを すこし ひらく
ようにして おりかえす



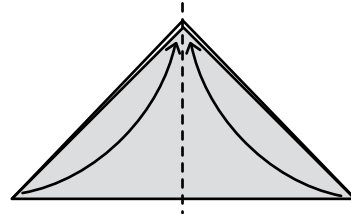
5 うらがえす



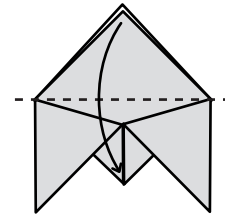
7 うえの さんかくに あわせて
たにおりし、うらがえす



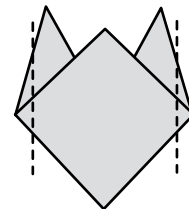
9 みみのさきを きる



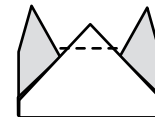
2 りょうはしを うえの
さんかくに あわせるように
おる



4 さんかくの ぶぶんを
たにおりし、じょうげを
さかさまにする



6 たにおりする



8 あたまを おりかえす



10 かおをかいて できあがり

